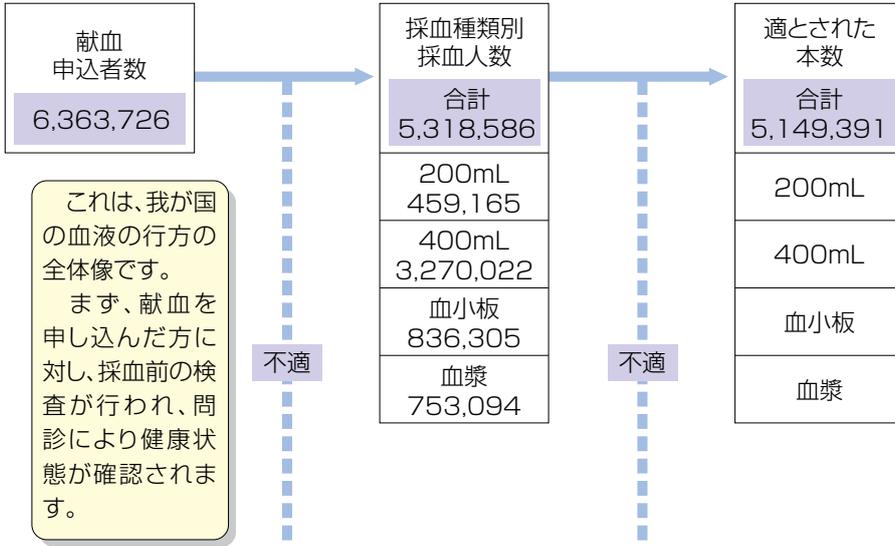


我が国における血液



	不適人数
採血基準	521,450
問診①	15,443
問診②	168,677
その他	339,570
合計	1,045,140

※問診①②については
23ページ参照

不適人数	内 訳	
169,195	一次検査	核酸増幅検査(NAT)
梅毒	7,178	
HBV	13,024	93
HCV	2,831	4
HIV	4,559	1
HTLV-1	3,919	
B19	2,351	
不規則	9,300	
肝機能	125,056	
その他	7,196	
延人数	175,414	98

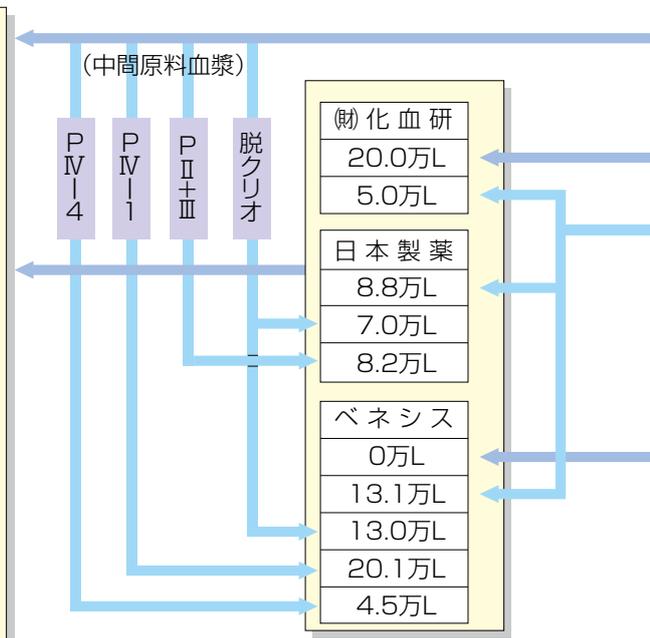
採血前検査を通った方から採血された血液は、感染症や抗体について検査されます。
ここで不適とされたものは、以後の製造には用いられません。

検査で適とされた血液は、輸血用血液製剤や原料血漿に調製されます。
輸血用血液製剤は、日本赤十字社から医療機関に供給されます。

- <輸入>
- 製剤・血漿
 - ・アルブミン製剤
 - ・組織接着剤
 - ・インヒビター製剤
 - ・免疫グロブリン製剤
 - ・抗HBsIG製剤
 - ・抗D(Rho)IG製剤
 - ・抗破傷風IG製剤
 - ・ATⅢ製剤
 - ・C1-インアクチベータ
 - ・血漿
 - ・中間原料
 - 遺伝子組換え
 - ・アルブミン製剤
 - ・第Ⅶ因子製剤
 - ・第Ⅷ因子製剤
 - ・第Ⅸ因子製剤

血漿分画製剤(22年度自給率)

○アルブミン製剤	58.2%(血漿)
○第Ⅸ因子製剤	100%(血漿)
○フィブリノゲン製剤	74.9%(組換え)
トロンビン製剤	}	100%
活性化プロテインC		
人ハプトグロビン		
○組織接着剤	45.7%
○第Ⅷ因子製剤	100%(血漿)
○第Ⅷ因子製剤	21.8%(組換え)
○インヒビター製剤	}	0%
第Ⅷ因子製剤		
抗D(Rho)IG製剤		
抗破傷風IG製剤		
C1-インアクチベータ		
○免疫グロブリン製剤	95.1%
○抗HBsIG製剤	2.0%
○ATⅢ製剤	100%



の行方（平成22年版）

